

業績目録 (平成 28 年)

教室・部門名 疼痛・緩和医療学教室

(A-a) 英文著書

- 1 Higashiguchi Y, Ikegaki J, Sobue K, Tamura Y, Nakajima N, Futamura A, Miyashita M, Mori N, Inui A, Ohta K, Hosokawa T. Guidelines for parenteral fluid management for terminal cancer patients. Jpn. J. Clin. Oncol. Oxford University Press: 2016
- 2 Nakatsukasa K, Koyama H, Oouchi Y, Imanishi S, Mizuta N, Sakaguchi K, Fujita Y, Imai A, Okamoto A, Hamaoka A, Soushi M, Fujiwara I, Kotani T, Matsuda T, Fukuda K, Morita M, Kawakami S, Kadotani Y, Konishi E, Yanagisawa A, Goto M, Yamada K, Taguchi T. Docetaxel cyclophosphamide, and trastuzumab as neoadjuvant chemotherapy for HER2-positive primary breast cancer. Breast Cancer. 2016

(A-b) 和文著書

- 1 志真泰夫, 恒藤 暁, 細川豊史, 宮下光令, 山崎章郎. 緩和ケア白書 2016. 青海社, 東京: 2016
- 2 深澤圭太. 神経障害性疼痛の臨床的特徴. 神経障害性疼痛薬物療法ガイドライン改訂第2版, 日本ペインクリニック学会神経障害性疼痛薬物療法ガイドライン改訂版作成ワーキンググループ 編. 真興交易, 東京: 40-42, 2016
- 3 深澤圭太. 化学療法誘発性末梢神経障害性疼痛. 神経障害性疼痛薬物療法ガイドライン改訂第2版, 日本ペインクリニック学会神経障害性疼痛薬物療法ガイドライン改訂版作成ワーキンググループ 編. 真興交易, 東京: 110-112, 2016
- 4 深澤圭太. 神経障害性疼痛 はじめに. ペインクリニック治療指針改訂第5版. 日本ペインクリニック学会治療指針検討委員会 編. 真興交易, 東京: 126-127, 2016
- 5 谷口彩乃. II-19. 上下腹神経叢ブロック. ペインクリニック治療指針改訂第5版. 日本ペインクリニック学会治療指針検討委員会 編. 真興交易, 東京, 49-51, 2016

(B-a) 英文総説

該当なし

(B-b) 和文総説

- 1 細川豊史. 緩和ケア: 最新トピック はじめに. 医学のあゆみ 259 (9) : 893, 2016.
- 2 細川豊史. レジデントにとって必須の緩和ケアの知識. 特集にあたって. レジデント 9(7) : 4-5, 2016.
- 3 細川豊史. 緩和医療の現状から学ぶ緩和ケアの“がん”領域での現状. ICUとCCU40(11) : 737-744, 2016
- 4 上野博司, 藤本早和子, 細川豊史. 緩和ケアとインフォームド・コンセント. 京都府立医科大学雑誌 125(8) : 549-557, 2016.
- 5 権哲, 細川豊史. 緩和医療における乱用, 依存. 医学のあゆみ, 259(9) : 913-916, 2016.
- 6 大西佳子, 細川豊史, 吉岡とも子. がん性髄膜炎の頭痛. 緩和ケア 26(1) : 48-53, 2016.
- 7 大西佳子, 細川豊史. 痛みに対応しよう 痛みの評価と治療の選択. レジデント 9(7) : 32-37, 2016.
- 8 大西佳子, 細川豊史. 選択的セロトニン再取り込み阻害薬 (SSRI), セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害薬 (SNRI). ペインクリニック 37(5) : 583-592, 2016.
- 9 原田秋穂. 緩和ケア: 最新トピック: 看取りと鎮静. 医学のあゆみ, 259(9) : 936-940, 2016.
- 10 山代 亜紀子, 細川 豊史. レジデントにとって必須の緩和ケアの知識: 緩和ケアとは レジデント 9(7) : 6-12, 2016.
- 11 山代 亜紀子, 細川 豊史. 在宅でがんの痛みに対処する: がんと診断されたときからの緩和ケアを実践する 痛みの評価. 日本医事新報 4814: 24-32, 2016.
- 12 山代 亜紀子, 細川 豊史. 緩和ケア:最新トピック: がんと診断されたときからの緩和ケア. 医学のあゆみ 259(9) : 895-899, 2016.
- 13 波多野貴彦, 細川豊史. 腕神経浸潤による神経障害性疼痛. 緩和ケア 26(1) : 24-29, 2016
- 14 岡田 恵, 細川 豊史. 特集:痛み診療における光線療法: I-1 低出力レーザー治療器. ペインクリニック 37(2) : 153-160, 2016.
- 15 藤原 恵, 細川 豊史. 緩和ケア:最新トピック: 最新版がん疼痛ケア. 医学のあゆみ 259(9) : 905-911, 2007.

(C-a) 英文原著

- 1 Kanbayashi Y, Hosokawa T, Yasui K, Hongo F, Yamaguchi K, Moriguchi M, Miki T, Itoh Y. Predictive factors for sorafenib-induced hand-foot skin reaction using ordered logistic regression analysis. Am J Health Syst Pharm 1(73), e18-23, 2016 (Impact factor: 2.451)

(C-b) 和文原著

- 1 原田 秋穂, 細川 豊史. 悪心・嘔吐・空嘔がプレガバリンで軽快した腓頭部がん患者. ペインクリニック 37(7): 943-948, 2016.
- 2 岡本明子, 上野博司, 山代亜紀子, 岡田恵, 仲宗根ありさ, 波多野貴彦, 原田秋穂, 谷口彩乃, 大西佳子, 権哲, 深澤圭太, 田口哲也, 天谷文昌, 細川豊史. 乳癌末期における緩和ケアとしての酢酸メドロキシprogesteroneの可能性について、2例の経験からの考察. 癌と化学療法 43(3):345-348, 2016.
- 3 谷口彩乃, 権哲, 山代亜紀子, 細川 豊史. 痛みの原因となった腫瘍消失後も遷延する痛みをもつ患者に, オピオイド鎮痛薬の薬物関連異常行動を認めた悪性リンパ腫の1例. Palliative Care Research 11(3): 548-552, 2016.

(D) 学会発表

I) 特別講演、教育講演等

- 1 細川豊史. Neural Blockade in Cancer Patients. 中国医師協会疼痛医師専門委員会年会, 2016. 7. 16, 中華人民共和国 (南昌).
- 2 細川豊史. The History, Present Status and the Future of the Pain Clinic in Japan. The 63rd Annual Meeting of Korean Pain Society, 2016. 11. 19, Seoul.
- 3 細川豊史. 痛み治療の最前線. 第 15 回日本間質性膀胱炎研究会, 2016. 1. 17, 東京.
- 4 細川豊史. 基調講演 ; がん医療における緩和ケアの現在と未来. 平成 27 年度京都府立医科大学看護研究交流会, 2016. 2. 13, 京都
- 5 細川豊史. 疼痛治療 (ペインクリニック)、緩和ケアにおける漢方薬の役割とその使い方. 2016. 2. 19, 金沢.
- 6 細川豊史. 特別講演 ; 疼痛治療 (ペインクリニック) , 緩和ケアにおける漢方薬の役割とその使い方. 第 28 回内灘漢方研究会, 2016. 2. 19, 金沢.
- 7 細川豊史. 特別講演 ; 早期からの “がん” 疼痛ケアの重要性と “がん” 患者さんの痛みの診断と治療について. 第 35 回阪神緩和医療研究会,

2016. 3. 4, 西宮.
- 8 細川豊史. 早期からの“がん”疼痛ケアの重要性と内臓神経ブロックの新しい考え方. 第30回佐賀在宅緩和ケア薬研究会, 2016. 4. 9. 佐賀
 - 9 細川豊史. 知ってほしい痛みのお話&がん性疼痛治療のアップデート. 愛媛がん性疼痛研究会, 2016. 4. 25, 松山.
 - 10 細川豊史. 特別講演;知ってほしい痛みのお話—非がん性疼痛・がん疼痛、どちらのケアでも痛みの診断はとても大切です—. 第13回宮城県痛みを考える会, 2016. 6. 11, 仙台.
 - 11 細川豊史. 会長講演;日本人の死生観と宗教観~Shall the next world be present?~;第21回日本緩和医療学会学術大会, 2016. 6. 17. 京都
 - 12 細川豊史. 日本におけるペインクリニックの現状と未来. 国際シンポジウム「アジアにおけるペインクリニックの現状と未来」. 日本ペインクリニック学会第50回大会, 2016. 7. 9, 横浜.
 - 13 細川豊史. 知ってほしい早期からの疼痛コントロールと重要性&これからの緩和ケア. 京都桂がん診療地域連携講演会, 2016. 7. 30, 京都.
 - 14 細川豊史. 緩和医療について—基礎編—. がんサロン・ピアサポート養成講座, 2016. 11. 12, 京都.
 - 15 細川豊史. 知ってほしい早期からの疼痛コントロールの重要性&これからの緩和ケア. 両毛地区緩和ケア講演会, 2016. 11. 24, 足利市.
 - 16 細川豊史. 死の状態像について—本邦における緩和ケアの現状と将来、知ってほしい“がん”患者さんの痛みを中心に—. 京都府看取りサポートの人材養成研修, 2016. 11. 30, 京都.
 - 17 細川豊史. がん疼痛ケアの重要性と地域連携による在宅緩和ケア. 第110回滋賀県外科医会, 2016. 12. 17, 大津.
 - 18 細川豊史. 緩和ケア. 京都府健康福祉部かかりつけ医がん対応力向上研修, 2016. 12. 10, 京都.
 - 19 深澤圭太. 困った痛みの対処法 ~慢性痛からがん性痛まで~. 第106回 京都実地医家の会, 2016. 2. 6, 京都.
 - 20 深澤圭太. 腰下肢痛に対するインターベンショナル治療. 硬膜外ブロック, 腰神経叢ブロック. 第8回神経ブロック手技シンポジウム, 2016. 2. 13, 大阪.
 - 21 深澤圭太. がん性痛治療のスタンダード ①骨転移痛について ②神経ブロック療法. ばんたね緩和ケア地域医療講演会, 2016. 3. 10, 名古屋.

- 22 深澤圭太. 痛みの治療を整理する ～最近、ちょっとややこしい痛み止めが多くないですか?～, 大津市医師会定例会時学術講演会, 2016. 4. 28, 大津.
- 23 深澤圭太. 超音波ガイド下頸部神経根ブロック、椎間関節ブロック、PVB. 第9回 神経ブロック手技シンポジウム, 2016. 9. 24, 大阪
- 24 深澤圭太. ペインクリニックのための超音波ガイド下神経ブロック in 新潟, 2016. 11. 27, 新潟.
- 25 深澤圭太. 慢性痛の治療 ～弱オピオイドの位置付けも含めて～. 舞鶴医師会学術講演会, 2016. 12. 13, 京都.
- 26 上野博司. 身体的苦痛症状の緩和を3段階ラダーで考える. 特別講演. 栃木県緩和ケアウィンターセミナー, 2016. 12. 2. 宇都宮.
- 27 権哲. 慢性疼痛からがん性疼痛までの様々な痛みとその対処法～実際の症例をふまえて～. 下京西武医師会生涯教育講演会, 2016. 4. 21, 京都.
- 28 山代亜紀子. 緩和ケアと「もしもの時の話し合い」～アドバンス・ケア・プランニング～. あいな清和苑研修会, 2016. 11. 22,

II) シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション等

- 1 深澤 圭太. 超音波ガイド下神経ブロック：3D解剖とライブデモ 星状神経節ブロック, C4レベル頭長筋内注入, 後頭神経ブロック. 第6回日本医学シミュレーション学会, 2016. 1. 30, 東京.
- 2 深澤 圭太. シンポジウム 25 難治性疼痛へのアプローチ; がん疼痛治療における神経ブロックの役割. 第20回日本緩和医療学会学術大会, 2016. 6. 8, 京都.
- 3 上野博司. シンポジウム; 麻酔科医、ペインクリニックの特性を生かした緩和ケア. 第46回関西ペインクリニック学会学術集会, 2016. 5. 14, 大阪.
- 4 上野博司, 細川豊史. 緩和ケア病棟・チームでの麻酔科医としての活躍. シンポジウム 緩和医療: 麻酔科ができること・求められること. 日本麻酔科学会第63回学術集会, 2016. 5. 28, 福岡.
- 5 権哲. 緩和ケアにおけるオピオイドの乱用と依存. 日本臨床麻酔学会第36回大会, 2016. 11. 5, 高知.
- 6 大西佳子. ディベートシンポジウム 1. オピオイド鎮痛薬～オピオイドの使い分けに意味があるか～. 第10回日本緩和医療薬学会年会, 2016. 6. 4, 浜松.
- 7 原田 秋穂. 鎮静: 開設間もない大学病院緩和ケア病棟での問題点. 第21回日本緩和医療学会, 2016. 6. 17, 京都.

- 8 山代亜紀子. 鎮痛補助薬どう使う?～臨床事例の観点から～. 第10回日本緩和医療学会, 2016.6, 4, 浜松.
- 9 山代亜紀子, 里見絵里子. Problem-Based Learning (6) 悪性腸腰筋症候群のがん疼痛管理. 日本臨床麻酔学会 第36回大会, 2016.11.4, 高知
- 10 山代亜紀子. 難治性がん疼痛に対する脊髄くも膜下鎮痛法の適応と実際. 第1回関西緩和医療研究会, 2016.11.15, 神戸.
- 11 波多野貴彦/ 当院での上腹部がん性疼痛に対する内臓神経ブロック(腹腔神経ブロック)の有用性. 第21回日本緩和学会, 2016.6.18, 京都.
- 12 波多野貴彦. 難治性がん性疼痛の対応. 第1回関西緩和医療研究会, 2016.11.13, 神戸 .

Ⅲ) 国際学会における一般発表 該当なし

E 研究助成 (競争的研究助成金)

総額 449 万円

公的助成

代表 (総額)・小計 429 万円

- 1 文部科学省科学研究費科学研究費補助金基盤研究 (C) 平成 25～27 年度
タキサン系抗癌剤による末梢神経障害性疼痛の予防・治療法の開発
助成金額 429 万円

分担・小計 20 万円

- 1 厚生労働省科学研究費補助金がん施策研究事業 平成 27 年度
がん診療拠点病院におけるがん疼痛緩和に対する取り組みの評価と改善
に関する研究
助成金額 20 万円

財団等からの助成

該当なし